

第 3 回八王子市地域づくり推進基本方針 改定懇談会について

第3回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会 について

令和6年（2024年）1月22日開催

第3回の議題

- (1) 「新・地域づくり推進基本方針」策定に向けた検討について
 - ア 新・基本方針の全体像
 - イ 市の施策（＝行政として用意するしくみ）
 - ウ 推進会議参加者向けアンケート結果
 - エ スケジュール・今後の予定
- (2) その他

参加者

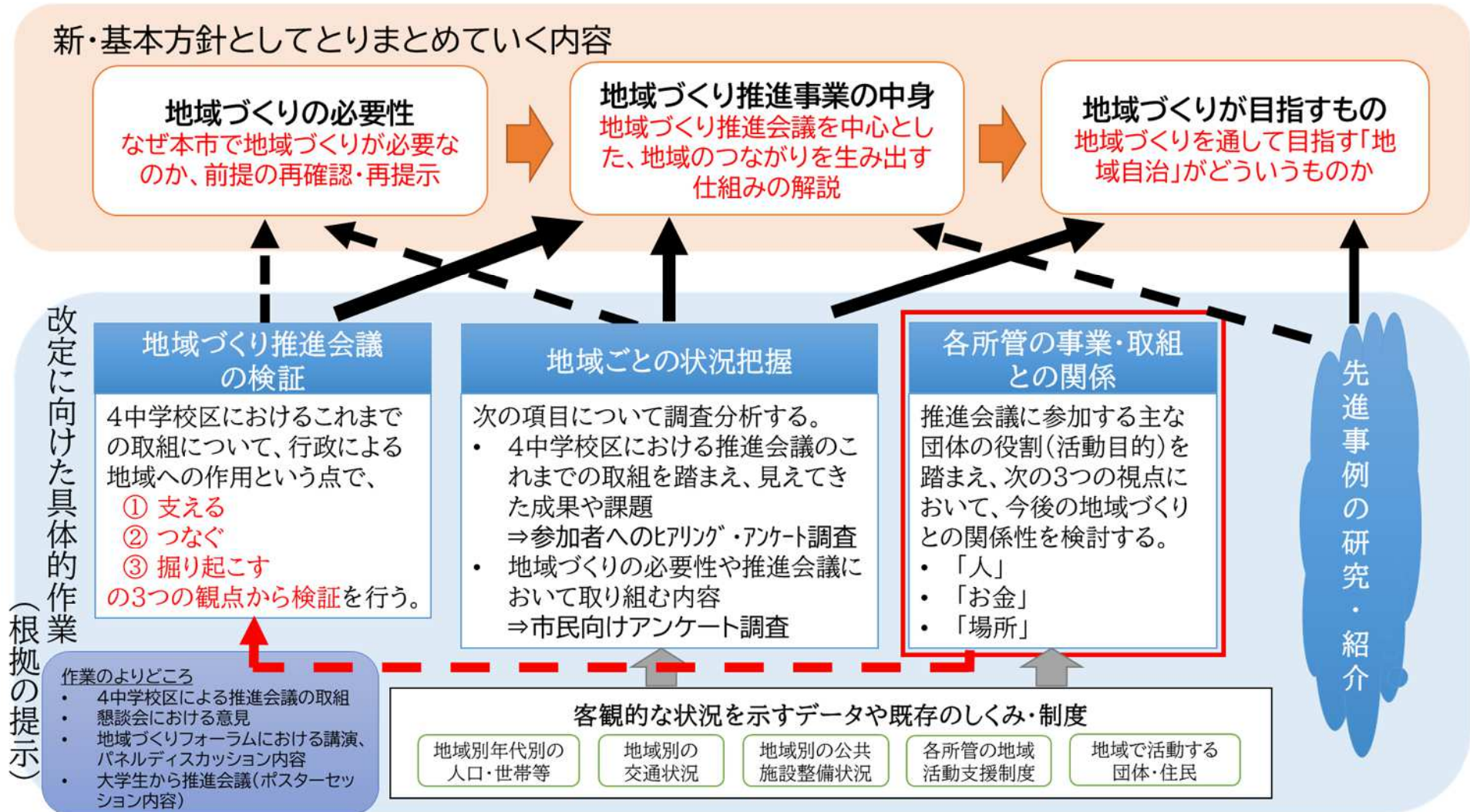
大杉 覚	東京都立大学法学部 教授
谷本 有美子	法政大学社会学部社会政策科学科 准教授
野副 弘毅	長房中学校区地域づくり推進会議参加者(元中学校PTA)
荒木 紀行	川口中学校区地域づくり推進会議参加者(町会自治会)
野牧 宏治	みなみ野中学校区地域づくり推進会議参加者(NPO団体)
吉村 由美	南大沢中学校区地域づくり推進会議参加者(民生委員)

(懇談会の様子)



足立 純一	一般財団法人 八王子冒険遊び場の会 理事
田中 久乃	NPO法人 dattochi home 理事
他	庁内部長職(市民活動推進部、福祉部、都市計画部、学校教育部)

まとめていきたい内容と具体的な改定作業との関係性



< 新たな地域づくりビジョン(仮) >

**ゆるやかなつながりを大切に、
地域をもっと好きになる！**

地域づくりの必要性

- 地域が抱える現状
 - ゆるやかなつながり
 - 地域でやりたいこと
 - 地域への愛着
- 行政が抱える現状

「八王子未来デザイン2040」策定の背景
未来を拓く原動力 = 地域自治・共創

八王子市の特徴(強み・弱み)

- 豊かな地域性
- 高い市民力・地域力
- 時代の変化とともに見直しの必要が生じているしくみ・制度

現状を改善

市の施策(行政として用意するしくみ)

地域づくり推進会議 や 地域づくり団体

のしくみ・制度をベースにしながら、
市から 支える つなぐ 掘り起こす の視点
で取組を展開

2040年に目指す地域コミュニティの姿

ゆるやかなつながりを大切に、地域をもっと好きになる!

< 新たな地域づくりビジョン > の実現で達成する3つの姿

誰でも気軽に参加でき、参加する人が「楽しい」「満足」と感じられる取組を継続的に行うことで、地域がゆるやかにつながる
地域内外の資源を活用し、みんながその地域に着目するような「魅力的」な取組を行っていく
地域づくりで育まれたつながりを通じて、これまでどおり継続することが難しくなっている取組や地域の困りごとの共有が図られ、少しでも改善・解消の糸口を見つけていく

その先にある姿

今後の議論の進め方

市の施策(行政として用意するしくみ)

- 地域づくり推進会議の取組の検証を踏まえた地域が安心して継続的に活動できるしくみ
 - 地域づくり推進会議のあり方(役割・機能の見直し)
 - 地域づくり団体制度の創設
- 地域と行政の役割分担を踏まえた八王子市の取組
 - 地域に対する財政等の支援
 - 地域団体をつなぐネットワーク構築
 - 庁内の横連携を図り、各所管と地域をつなげるしくみの構築
 - 地域づくり推進事業の周知・PR

地域づくりの必要性

地域づくりの取組でどのような課題にチャレンジしていくのか
(推進会議の取組の検証やアンケート結果の分析などを通して)

第3回懇談会で参加者の皆さんからいただいたご意見(一部)

- みんなの幸せ、楽しい八王子、住んでいてよかった八王子ということがこのビジョンだと、どの世代でもわかりやすい。「地域自治」という言葉は難しい
- 今回提示されたビジョンは、「私」という主語が明確になる
- ゆるやかに集まった人が、楽しいと感じることが大切
- 活動にだけ参加したい人でも参加できるような地域づくり団体のしくみにしていきたい。
- 地域で特徴的な活動をしている人をゲストスピーカーとして招き、活動を紹介してもらおうといったことを連綿とやっていく、そうしたことが発掘につながる
- 結婚して子どもができ、初めて地域に出てみるという人をターゲットにすると、子どもが手を離れたときに地域に目を向けてくれるかも

基本方針見直しのスケジュール

第3回懇談会資料から抜粋

